

令和7年度

# シラバス

3年生(第22期生)



徳島県立富岡東高等学校羽ノ浦校

看護科

# 令和7年度（国語）科 シラバス

教科 科	国語	科 目	国語表現	単 位 数	2単位	学 年	看護科 3 年
教科 書	国語表現(東京書籍)		副 教 材	ベネッセ キャリアナビ 高校生必修語彙ノート			
評価 方法	【知識・技能】【思考・判断・表現】 定期考査、課題テスト、小テスト、週課題、表現活動や提出物の内容 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、提出物の内容(宿題、レポート等)、表現活動への取り組み						

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
1学期	4・5・6	論理的な文章を書こう	28	・論理的な文章の特徴、構成や展開の仕方を理解している。【知識・技能】 ・読み手の同意や共感が得られるよう、根拠を挙げて構成や展開を工夫して論じている。【思考・判断・表現】 ・小論文を書く活動を通じて、根拠を明確にしなが論じることを理解し、自らの文章を改善しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】
	7	表現の窓⑩	2	・自分の思いや考えを伝える際の言語表現を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。【知識・技能】
2学期	9・10	情報活用力を身につけよう	25	・相手や目的に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。【知識・技能】 ・媒体や主な読者に合わせて適切なテーマを設定し、必要な情報を集めている。【思考・判断・表現】 ・描いたイメージが読み手に伝わるように、描写や説明を工夫して書いている。【思考・判断・表現】 ・広報資料の目的を理解し、読み手に伝えたい情報を吟味し、話し合いながら協力してよりよい広報資料を作ろうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】
	11	表現の窓⑪⑫	3	・実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めている。【知識・技能】
	12	説得力のある提案をしよう	7	・言葉の選び方が聞き手の納得度に関わることを理解している。【知識・技能】 ・提案する目的や発表する場に応じて、情報を収集・整理したうえで、提案内容を検討している。【思考・判断・表現】 ・プレゼンテーションを行う活動を通して、提案するための流れを理解し、意欲的に実践しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】
3学期	1	表現を楽しもう	2	・表現したい内容に合った言葉を吟味し、表現技法を理解し使っている。【知識・技能】 ・読み手を想定した適切な題材を選び、構成や展開を工夫して書いている。【思考・判断・表現】 ・読み手を意識した言葉を選び、自分が思い描いたことを表現しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】
	2・3	心をつかむ表現	3	・さまざまなエッセイを参考にしながら、題材を集め、読み手を楽しませるようなエッセイを書く。【思考・判断・表現】 ・さまざまなエッセイに興味を持ち、読み手を楽しませるようなエッセイを書こうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

# 令和7年度 地理歴史科 シラバス

教科 科	地理歴史科	科 目	地理総合		単 位 数	2単位	学 年	看護科 3 年
教科 書	地理総合（実教出版）		副 教 材	基本地図帳(二宮書店)				
評価 方法	小テスト、定期考査、課題テストなど【知識・技能】 定期考査、週課題レポート、ノート【思考・判断・表現】 活動の様子の観察、口頭発表、週課題レポートなど【主体的に学習に取り組む態度】							

学期	月	学習内容(単元名)	配当 時間	評価規準
1 学期	4	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代社会	5	日常生活の中で見られる地図の表現方法や読図などの知識を理解できている。さらに、関連する地理情報を収集することができる。【知識・技能】
				地理的な見方・考え方に基づいて考察し、複数の視点から主題を判断し、地図や文章で表現できている。また、世界の諸地域で生じている課題を追求しての課題策を考え、提示できている。【思考・判断・表現】
				我が国や世界の領土や領域をめぐる問題について興味関心を持ち、学習を振り返りながら知識の調整・定着を図ろうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】
	5	第2編 国際理解と国際協力	8	多様な自然環境の特徴と、そこで展開される人々の生活文化について理解できている。また、地理的な視点に立ちながら関連資料を読み取ることができる。【知識・技能】
		第1章 生活文化の多様性と国際理解		多様な自然環境の特徴と、そこで展開される人々の生活文化について地理的な見方・考え方に基づいて考察し、複数の視点から主題を判断し、地図や文章で表現できている。【思考・判断・表現】
		1 自然環境と生活文化		多様な自然環境のもとで展開される生活文化に興味関心を持ち、学習の振り返りを通して多様な生活文化に関する知識の調整・定着を図ろうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】
	6 7	2 産業の進展によって変化する生活文化	12	「産業の進展」「経済の発展」と生活の変化との関連について理解できている。また、地理的な視点に立ちながら関連資料を読み取ることができる。【知識・技能】
				「産業の進展」「経済の発展」と生活の変化との関連について地理的な見方・考え方に基づいて考察し、各地域における生活の特徴や経済的な格差等に気付き、地図や文章で表現できている。【思考・判断・表現】
				「産業の進展」「経済の発展」と生活の変化との関連に気付いた上で、興味関心を持ち、学習の振り返りを通して生活の変化が著しい国に関する知識の調整・定着を図ろうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

学期	月	学習内容(単元名)	配当 時間	評価規準
2 学期	9	3 宗教に基づいた生活文化	8	「世界の宗教やその分布」「宗教と関わる生活」について理解できている。また、視点に立ちながら関連資料を読み取ることができる。【知識・技能】
				世界の国・地域で生じている「宗教に関わる課題」を見出し、社会環境と関連付けながら解決策を考え、提示できている。【思考・判断・表現】
				世界の宗教について興味関心を持ち、学習の振り返りを通して「宗教」や「宗教とかわる生活文化」について知識の調整・定着を図ろうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
2 学期	10	4 国家・民族・言語の結び付きと生活文化	7	世界の国家・民族・言語やその結び付き及び世界の移民やその歴史について理解できている。【知識・技能】
				世界の国家・民族・言語やその結び付き及び世界の移民やその歴史について地理的な見方・考え方に基づいて考察し、複数の視点から主題を判断し、地図や文章で表現できている。【思考・判断・表現】
		5 移民とともに形成された生活文化		世界の国家・民族・言語やその結び付き及び世界の移民やその歴史について興味関心を持ち、学習の振り返りを通して「多民族国家」や「国家・民族・言語の結び付きによって影響を受ける人々の生活文化」、「移民の増加によって影響を受ける受入国の人々の生活文化」について知識の調整・定着を図ろうとしている。
				【主体的に学習に取り組む態度】
	11 12	第2章 地球的課題と国際協力	13	地球的課題や課題に対する国際的な取組について理解できている。また、地理的な視点に立ちながら関連資料を読み取ることができている。【知識・技能】
		1 人口問題の展開と対策		地球的課題について、地理的な見方・考え方に基づいて考察し、複数の視点から主題を判断し、地図や文章で表現できている。特に、興味関心のある地球的課題を一つ取り上げ、それを探究主題に設定した上で、「持続可能な開発目標(SDGs)」と関連付けながら主体的に研究してその解決策を考え、提示できている。
		2 アンバランスな人口分布		【思考・判断・表現】
		3 食糧問題の要因と解決に向けた課題		地球的課題について興味関心を持ち、学習の振り返りを通して「持続可能な社会の実現に向けた取り組み」も含めた知識の調整・定着を図ろうとしている。
		4 食糧問題への取り組み		【主体的に学習に取り組む態度】
		5 都市居住問題		
		6 エネルギー資源の開発と限界		
		7 新たなエネルギー資源への取り組み		
		8 地球環境問題:地球温暖化		
		9 さまざまな場所で発生する地球環境問題		
		10 地球的課題の解決に向けた国際協力		

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
3 学期	1	第3編 持続可能な地域づくりと私たち	9	世界や日本の自然環境や自然現象、自然災害、防災・減災の在り方について理解できている。また、地理的な視点に立ちながら関連資料を読み取ることができている。【知識・技能】
		第1章 自然災害と防災		世界や日本の自然環境や自然現象について、地理的な見方・考え方に基づいて考察し、複数の視点から主題を判断し、地図や文章で表現できている。また、自然災害や防災に着目しながら身近な地域が抱える課題を見出し、それを探究主題に設定した上で、防災・減災の観点を踏まえながら主体的に追求してその解決策を考え、提示できている。
				【思考・判断・表現】
				世界や日本の自然環境や自然現象について興味関心を持ち、学習の振り返りを通して「自然災害」や「防災・減災のあり方」についての知識の調整・定着を図ろうとしている。
				【主体的に学習に取り組む態度】
	2 3	第2章 地域調査	8	地域調査の手法について理解できている。さらに、身近な地域の諸情報を収集することができている。【知識・技能】
				身近な地域の諸課題などについて、地理的な見方・考え方に基づいて考察し、複数の視点から主題を判断し、地図や文章で適切に表現できている。また、本節で学んだ「地域調査のための手法」を踏まえながら、具体的かつ独自性のある調査テーマと仮説を設定した上で主体的に追求し、まとめることができている。
				【思考・判断・表現】
				身近な地域の諸課題などについて興味関心を持っている。さらに、自身がまとめた内容に対する他者の意見を傾聴している。【主体的に学習に取り組む態度】

# 令和7年度 (数学) 科 シラバス

教科	数学科	科目	数学A	単位数	3単位	学年	看護科 3 年
教科書	新編 数学A(数研出版)		副教材	Study-Up ノート 数学A(数研)			
評価方法	【知識・技能】【思考・判断・表現】 定期考査、課題テスト、小テスト、週課題、提出物(宿題・課題研究等) 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、提出物(宿題・課題研究等)、探究活動への取り組み						

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4月	場合の数	28	樹形図、和の法則、積の法則を理解し、使うことができる
	5月			順列、円順列、重複順列の計算ができる
	6月			組合せの公式を使うことができる
	7月			同じものを含む順列の総数を求めることができる
				重複組合せを計算できる
2 学期	9月	確率	28	定義による確率を求めることができる
	10月			和事象、余事象の確率を求めることができる
				集合を活用した複雑な事象の確率を求めることができる
				独立な試行の確率を求めることができる
				反復試行の確率を求めることができる
11月	平面図形	28	条件付き確率と確率の乗法定理を理解し、計算できる	
			平行線と比の関係を理解している	
定理を利用して線分の比や長さを求めることができる				
三角形の外心、内心、重心を理解している				
チェバの定理、メネラウスの定理を使うことができる				
3 学期	1月	平面図形	28	円周角の定理を理解し使うことができる
	円に内接する四角形の性質を理解している			
	円の接線の性質と接弦定理を理解し、使うことができる			
	方べきの定理を使うことができる			
	内分点・外分点の作図、 $b/a$ や $ab$ の長さをもつ線分の作図ができる			
	$\sqrt{a}$ の長さをもつ線分の作図ができる			
	2月			空間図形
		空間における直線や平面が平行または垂直となる条件を理解している		
		数学と人間の活動	16	2、3、4、5、6、8、9の倍数の判定ができる
	素因数分解を利用して最大公約数・最小公倍数を求めることができる			
互いに素な整数を理解している				
互除法による、最大公約数を求めることができる				
1次不定方程式を解くことができる				
3月			分数を小数で表したとき、小数第 $n$ 位の数字を求めることができる	
			位取り記数法、10進法、2進法、 $n$ 進法について理解している	
			$n$ 進法の整数を10進法で、10進法の整数を $n$ 進法で表すことができる	

# 令和7年度 理科 シラバス

教科科	理科	科目	生物基礎		単位数	3単位	学年	看護科 3 年
教科書	生物基礎(実教出版)			副教材	アクセスノート 生物基礎改訂版(実教出版)			
評価方法	【知識・技能】【思考・判断・表現】 定期考査、課題テスト、小テスト、週課題、作問学習、提出物(宿題、実験レポート) 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、提出物(宿題、実験レポート、振り返りシート)、作問学習							

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4 5	第1章 生物の特徴 1節 生物の多様性と共通性	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の共通性と多様性について、すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解している。【知識・技能】</li> <li>・原核細胞と真核細胞の違いについて、それらの細胞に含まれる細胞小器官の違いとともに理解している。【知識・技能】</li> <li>・細胞が生物の基本構造であることを、生物学的な視点から考察することができる。【思考・判断・表現】</li> <li>・生物の共通性を、実験や観察を通して見だし、理解しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】</li> </ul>
	5	2節 細胞とエネルギー	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解している。【知識・技能】</li> <li>・生体内で行われる化学反応は、酵素が触媒していることを理解している。【知識・技能】</li> <li>・呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を、関連づけて考察し、それを表現できる。【思考・判断・表現】</li> <li>・体内で行われる化学反応は、酵素が関わっていることを理解しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】</li> </ul>
	6	第2章 遺伝子とその働き 1節 遺伝情報とDNA	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DNAが二重らせん構造であること、そのため、2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解している。【知識・技能】</li> <li>・ゲノム、遺伝子、染色体、DNAの関係を理解している。【知識・技能】</li> <li>・体細胞分裂が行われる際に、遺伝情報の同一性が保たれることを理解している。【知識・技能】</li> <li>・DNAの複製を塩基配列と関連付けて説明することができる。【思考・判断・表現】</li> <li>・DNAの性質や構造を、DNAの研究史とともに理解しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・ゲノムと遺伝子、染色体、DNAの関係について理解しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>・細胞分裂の際に、DNAの塩基配列が正確に複製されるしくみを見だし、理解しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】</li> </ul>
	6 7	2節 遺伝情報とタンパク質の合成	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DNAの塩基配列に基づいて、タンパク質が合成されることを理解している。【知識・技能】</li> <li>・遺伝子の発現について理解し、細胞ごとに特定の遺伝子が発現することを理解する。【知識・技能】</li> <li>・腎臓の働きについて体系的に理解し、ろ過・再吸収のしくみを説明することができる。【思考・判断・表現】</li> <li>・外界の環境が変化しても、体内環境は一定の範囲に保たれていることを理解しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】</li> </ul>

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
2 学期	9	第3章 ヒトのからだの調節 1節 体内環境	12	・体内環境が一定の範囲に保たれることとその意味を理解している。【知識・技能】 ・腎臓での塩類濃度の調節や、肝臓による物質の合成・分解などのしくみを理解している。【知識・技能】 ・解剖など生体を扱う技能を習得している。【知識・技能】 ・腎臓の働きについて体系的に理解し、ろ過・再吸収のしくみを説明することができる。【思考・判断・表現】 ・外界の環境が変化しても、体内環境は一定の範囲に保たれていることを理解しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】
	10	2節 体内環境の維持のしくみ	9	・神経やホルモンの働きにより体内環境が維持されることを理解している。【知識・技能】 ・ホルモンの分泌により血糖濃度が保たれることを理解しており、ホルモンの分泌不足による発症する疾患についての知識を得ている。【知識・技能】 ・病原体を認識・排除する機構のしくみを体系的に考察し、表現することができる。【思考・判断・表現】 ・ヒトの免疫疾患について、身近な例をもとに説明することができる。【思考・判断・表現】 ・病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】
	11	3節 免疫	12	・病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解している。【知識・技能】 ・免疫の医療への応用やヒトの免疫疾患について理解している。【知識・技能】 ・病原体を認識・排除する機構のしくみを体系的に考察し、表現することができる。【思考・判断・表現】 ・ヒトの免疫疾患について、身近な例をもとに説明することができる。【思考・判断・表現】 ・病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】
	12	第4章 生物の多様性と生態系 1節 植生とその成り立ち	9	・陸上には、森林・草原・砂漠などの多くの植生がみられ、植物をとり巻く環境や構成種により植生が変わっていくことを理解している。【知識・技能】 ・植生の遷移についてその過程を理解している。【知識・技能】 ・植生の遷移が、光環境や土壌の変化によってどのように進むかを説明できる。【思考・判断・表現】 ・資料に基づいて、植生が変化する要因を見だし、その要因が植生にどのように影響するかを理解しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
3	1	2節 植生とバイオーム	6	・地球上には、気温や降水量ごとにさまざまなバイオームが成立していることを理解している。【知識・技能】 ・気温や降水量によって成立するバイオームが異なるのは、バイオームを構成する植物種がその場所の気温や降水量に適応しているためであると考察し、それを表現することができる。【思考・判断・表現】 ・地球上にはさまざまなバイオームが成立していることを理解しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】
	2	3節 生態系と生物の多様性	9	・生態系内における種多様性、生物どうしのかかわりあいについて理解している。【知識・技能】 ・生態系と生物の多様性に関する観察、実験などから、生態系における生物の種多様性を見いだすことができる。【思考・判断・表現】 ・生物が多様であることを、食物網や間接効果と関連付けて理解しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】
	3	4節 生態系のバランスと保全	4	・生態系のバランスや、生態系の保全の重要性について理解している。【知識・技能】 ・生態系の保全の重要性について、生物の多様性の視点から考察することができる。【思考・判断・表現】 ・世界の環境問題について、情報を調査し、自分の考えをまとめ、表現することができる。【思考・判断・表現】 ・生態系のバランスや、生態系を保全することが重要であることを理解しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】

# 令和7年度（保健体育）科 シラバス

教科	保健体育	科目	体育	単位数	2単位	学年	看護科 3 年
教科書	現代高等保健体育(大修館)		副教材				
評価方法	【知識・技能】実技テスト・ワークシート・課題 【思考・判断・表現】授業での取り組み方 【主体的に学習に取り組む態度】授業での取り組み方・出席状況						

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4	体づくり運動	6	心と体は互いに影響し合っていることや心身の状態について理解しようとしている。 仲間と主体的に取り組もうとしている。
		体育理論(豊かなスポーツライフの設計)		課題を発見し、解決に向けて思考・判断し、表現している。 学習に主体的に取り組もうとしている。
	5・6	集団行動	16	集団行動のおこない方を身につけ、効率的に行動しようとしている。
		球技(バレーボール)		状況に応じたボール操作と連携した動きによって攻防をしようとしている。 仲間と協力しゲームを展開しようとしている。 チームや自己の課題を解決しようとしている。
	6・7	球技(バドミントン)	13	ラケットの操作と連携した動きによって攻防をしようとしている。 仲間と協力しゲームを展開しようとしている。 チームや自己の課題を解決しようとしている。

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
2 学期	9	体づくり運動	12	心と体は互いに影響し合っていることや心身の状態について理解しようとしている。 学習に主体的に取り組もうとしている。
		体育理論(豊かなスポーツライフの設計)		課題を発見し、解決に向けて思考・判断し、表現している。 学習に主体的に取り組もうとしている。
		ダンス		互いに共感し、高め合い、合意形成に貢献しようとしている。 主体的に取り組むとともに、各自に応じた表現を大切にしようとしている。
	10	球技(卓球)	12	ラケットの操作と連携した動きによって攻防をしようとしている。 仲間と協力しゲームを展開しようとしている。 チームや自己の課題を解決しようとしている。 各人に応じた課題を設定し、取り組もうとしている。
	11・12	球技(バスケットボール)	16	状況に応じたボール操作と連携した動きによって攻防をしようとしている。 仲間と協力しゲームを展開しようとしている。 チームや自己の課題を解決しようとしている。

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
3 学期	1・2 3	球技選択(バレーボール・バドミントン・卓球・バスケットボール)	18	作戦や状況に応じた技能で攻防をしようとしている。 フェアなプレーを大切にしながら、仲間と協力しゲームを展開しようとしている。 主体的に取り組もうとしている。



# 令和7年度（外国語）科 シラバス

教科 科	外国語科	科 目	英語コミュニケーションⅡ	単 位 数	3単位	学 年	看護科 2 年
教科書	MY WAY English Communication Ⅱ（三省堂）		副 教 材	英単語ターゲット1200 旺文社			
評価 方法	・定期考査【知識・技能】【思考・判断・表現】・小テスト【知識・技能】【主体的に学習に取り組む態度】 ・発表【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】 ・ペアワーク、グループワークの観察【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】 ・提出物(宿題、英作文)【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】						

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4 5	Lesson6 Murals-The Power of Public Art  助動詞 助動詞の過去形を使った表現 助動詞+have+過去分詞 完了不定詞  芸術、異文化、レポート、学校生活	21	創立記念行事で校舎の外壁に描きたい絵について、対話の概要や要点、話の展開を、ワークシートを参考にしながら聞き取って捉えることができるか。(聞くこと)  世界中の壁画プロジェクトについて理解を深めるために世界各地の壁画について書かれたレポートを読んで、文章の展開や書き手の意図を把握し、概要や要点、詳細を捉えることができるか。(読むこと)  創立記念行事で校舎の外壁に描きたい絵について、多様な語句や文を用いて、考えを詳しく話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。(話すこと・やりとり)
	5 6 7	Lesson7 “Englishes” in the World  分詞構文 受け身の分詞構文 完了形の分詞構文 付帯状況with	21	楽しみながらできる英語の学習方について、対話の概要や要点、話の展開を、ワークシートを参考にしながら聞き取って捉えることができるか。(聞くこと)  世界のさまざまな英語について理解を深めるために、世界のさまざまな英語についてのレクチャーのスク립トを読んで、文章の展開や書き手の意図を把握し、概要や要点、詳細を捉えることができるか。(読むこと)  楽しみながらできる英語の学習方法をクラスに紹介するために、紹介したい英語の学習方法について、その効果や利点などを、グループで話し合った内容を基に詳しく話して伝えている。(話すこと・発表)  世界にはさまざまな英語を話す人がいることについて、読んで得られた情報などを活用しながら、理由や根拠とともに詳しく書いて伝えることができるか。(書くこと)  ペアや全体での活動において積極的に取り組んでいるか

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
2 学期	9 10	Lesson8 Deepika Kurup-The Science Behind Clean Water  仮定法過去 仮定法過去完了 Ifを使わない仮定法 no matter+疑問詞 科学、環境、生き方、インタビュー 地域での活動	19	特別授業に招待したい社会問題に取り組む発明家や起業家について、対話の概要や要点、話の展開を、ワークシートを参考にしながら聞き取って捉えることができるか。(聞くこと)  世界の水の問題とその解決のための取り組みについて理解を深めるために、科学者へのインタビューのスク립トを読んで、文章の展開や書き手の意図を把握し、概要や要点、詳細を捉えることができるか。(読むこと)  社会問題に取り組む発明家や起業家について、多様な語句や文を用いて、考えを詳しく話して伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるか。(話すこと・やりとり)  ペアや全体での活動において積極的に取り組んでいるか。
	11 12	Lesson9 The World's Poorest President  同格を表すthat節 強調構文 倒置省略  人物、生き方 雑誌記事・日常生活	21	幸せを感じるタイミングについて、対話の概要や要点、話の展開を、ワークシートを参考にしながら聞き取って捉えることができるか。(聞くこと)  ホセ・ムヒカさんの幸せに対する考え方について理解を深めるために、記事を読んで、文章の展開や書き手の意図を把握し、概要や要点、詳細を捉えることができるか。(読むこと)  最も共感を集めた幸せを感じるタイミングについて発表するために、グループで話し合った内容を基に詳しく話して伝えることができるか。(話すこと・発表)  スウェーデンのフィカについての自分の意見について、読んで得られた情報などを活用しながら、理由や根拠とともに詳しく書いて伝えることができるか。(書くこと)  ペアや全体での活動において積極的に取り組んでいるか。
3 学期	1 2	Lesson10 Living in an E-Society-The Pros and Cons  デジタル社会 討論 日常生活	23	eスポーツや電子書籍の長所と短所について、対話の概要や要点、話の展開を、ワークシートを参考にしながら聞き取って捉えることができるか。(聞くこと)  eスポーツや電子書籍の長所と短所についての議論を読んで、文章の展開や書き手の意図を把握し、概要や要点、詳細を捉えることができるか。(読むこと)  eスポーツや電子書籍の長所と短所について、読んで得られた情報などを活用しながら、理由や根拠とともに詳しく書いて伝えることができるか。(書くこと)  eスポーツや電子書籍の長所と短所について、多様な語句や文を用いて、考えを詳しく話して伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるか。(話すこと・やりとり)

# 令和7年度 (看護) 科 シラバス

教科	看護	科目	基礎看護	単位数	2単位	学年	看護科3年
教科書	高等学校用 基礎看護（文部科学省）		副教材	系統看護学講座 専門Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学2（医学書院） 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学3（医学書院）			
評価方法	【知識・技能】 小テスト、定期考査、実技テスト 【思考・判断・表現】 定期考査、校内演習、実技テスト 【主体的に学習に取り組む態度】 課題テスト、授業・演習への取り組み、グループワーク、プレゼンテーション、探求活動への取り組み						

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4 5 6 7	第5章 看護過程展開の技術 看護過程の各段階 アセスメント 全体像の把握 看護問題の明確化 看護計画 評価  看護記録	8	・看護過程の要素について理解している。【知識・技術】
				・情報の意味やつながりを捉え、関連図に書き表すことができる。 【思考・判断・表現】【主体的態度】
				・対象の全体像を捉え、看護上の問題を明確化し、優先順位を検討できる。 【思考・判断・表現】
				・事例を用いて、患者の状況や環境に応じた看護計画が立案できる。 【思考・判断・表現】【主体的態度】
				・看護計画の評価を経過記録として記述できる。【思考・判断・表現】
		第7章 呼吸・循環を整える技術 酸素療法 排痰ケア	14	・酸素療法の目的と副作用について理解している。【知識・技術】
				・酸素投与方法の種類とその特徴を理解している。【知識・技術】
				・酸素と酸素ボンベの取り扱いについて理解している。【知識・技術】
				・排痰ケアの目的と具体的な援助方法を理解している。【知識・技術】
				・安全安楽に排痰を促す援助について考察できる。【思考・判断・表現】
		第9章 与薬の技術 輸血管理	6	・口腔内・鼻腔内吸引の手順や注意点を根拠に基づいて理解し、モデル人形に吸引を実施できる。【思考・判断・表現】【主体的態度】
				・排痰ケアを受ける対象者の視点から、より安全安楽な援助の実践に向けて創造しようとしている。【思考・判断・表現】【主体的態度】
				・輸血療法の目的や血液製剤の種類、実施の手順について理解している。 【知識・技術】
				・輸血の副作用とその対処法について理解している。 【知識・技能】【思考・判断・表現】
				・安全な輸血の実施のために必要な援助について考察している。 【思考・判断・表現】【主体的態度】

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
2 学期	9	第8章 創傷管理技術 褥瘡予防	6	・皮膚の構造や創傷治癒過程、褥瘡のリスクアセスメントツールについて理解している。【知識・技術】
				・褥瘡予防の体圧分散ケアについて理解し、実践することができる。 【知識・技術】【思考・判断・表現】
				・褥瘡の好発部位や発生要因から、対象者の状態に応じた褥瘡の予防方法を考察している。【思考・判断・表現】
				・臨地実習での学びを振り返り、褥瘡予防や悪化予防のための援助方法について考えを深めている。【主体的態度】

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
2 学期	10 11 12	第11章 症状・生体機能管理技術 検体検査と生体検査	8	・検体検査の種類や血液検査の概要について理解している。【知識・技術】
				・静脈血採血の技術を根拠に基づいて理解し、モデル人形に安全に実施できる。【知識・技術】【思考・判断・表現】
				・対象者の安楽や安全な血液(検体)の取り扱いのための留意点に気づき、援助方法を創造している。【知識・技術】【思考・判断・表現】
				・演習を振り返り、安全安楽な援助について知識や技術を深めている。 【主体的態度】
		第12章 診察・検査・処置における技術 検査・処置の介助	6	・主な検査の概要と看護について理解している。【知識・技術】
				・検査を受ける対象者について理解を深め、看護上の留意点を挙げるができる。【知識・技術】【思考・判断・表現】
				・主な検査とその看護について調べ学習したことについて要点をまとめ、聴き手に伝わるようなプレゼンテーションができる。【主体的態度】

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
3 学期	1 2	第10章 救命救急処置技術 救命救急処置の基礎知識 心肺蘇生法 止血法 院内急変時の対応	10	・救急・急変時の初期対応について理解している。【知識・技術】
				・心肺蘇生法を実施できる。【知識・技術】
				・二次救命処置に使用する物品・薬剤や止血法、トリアージについて理解している。【知識・技術】
				・救急・急変時の医療チームの一員としての役割や対象者とその家族への援助について考察している。【思考・判断・表現】
				・急変はいつでも起こりうることを念頭に置き、学習に取り組んでいる。 【主体的態度】
		序章 看護技術の根底をなすもの 医療安全の確保	6	・医療安全に関する用語と、看護職の責務を理解している。【知識・技術】
				・実例から、医療事故とその原因を分析している。【思考・判断・表現】
				・インシデント報告の意義を理解し、インシデント報告の活用及び報告できる環境について考察している。【知識・技術】【思考・判断・表現】
				・看護の実践における危険の予見義務と回避義務を果たすために、看護職の役割を見いだそうとしている。【主体的態度】
		第13章 死の看取りの援助	6	・自己の死生観について考えている。【主体的態度】
				・死にゆく人の心理過程について理解している。【知識・技術】
				・遺される人、遺された人への援助を理解している。【知識・技術】
				・一般的な死後の経過と死後処置を理解している。【知識・技術】
				・臨終に際して看護職の役割を考察している。【思考・判断・表現】

# 令和7年度年度（看護）科 シラバス

教科	看護	科目	成人看護	単位数	1単位	学年	看護科3年
教科書	系統看護学講座 専門 運動器 成人看護学10（医学書院）		副教材	系統看護学講座 専門 呼吸器 成人看護学2（医学書院）			
評価方法	【知識・技能】 定期考査、演習、小テスト 【思考・判断・表現】 定期考査、授業における発表、グループワーク、課題（レポートなど） 【主体的に学習に取り組む態度】 課題テスト、授業・課題の取り組み、グループワークへの参加、探求活動の取り組み						

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4 5 6 7	第2章 運動器の構造と機能 骨 関節 神経と筋肉	2	・骨の構造と組成について理解している。【知識・技術】 ・関節の構造と可動域について理解している 知識・技術】 ・四肢の神経と筋肉の構造と機能について理解している。【知識・技術】
		第5章 疾患の理解 骨折	4	・骨折の分類、転位について理解している。【知識・技術】 ・骨折治癒の病態生理をもとに、症状に対する援助方法について考察している。【知識・技術】【思考・判断・表現】 ・骨折の診断と治療、看護について理解している。【知識・技術】
		大腿骨近位部骨折	4	・大腿骨近位部骨折の分類と治療、合併症について理解している。【知識・技術】 ・事例を用いて看護過程を展開できる。【思考・判断・表現】 ・治療と回復過程の看護について考察している。【主体的態度】

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
2 学期	9 10 11 12	関節の変性疾患:変形性関節症 変形性膝関節症	4	・変形性関節症の病態生理を理解している。【知識・技術】 ・変形性膝関節症の症状、診断、治療について理解している。【知識・技術】 ・人工膝関節置換術後を受けた患者の看護を考察できる。【思考・判断・表現】
		第2章 呼吸器の構造と機能 肺・気管・気管支の構造 気道のクリアランス 呼吸の生理	3	・肺・気管・気管支の構造について理解している。【知識・技術】 ・気道クリアランスと症状を関連づけて理解できる。【知識・技術】 ・呼吸調整、換気運動、ガス交換、酸塩基平衡についての理解のもとに各データをアセスメントできる。【知識・技術】【思考・判断・表現】
		第3章 症状とその病態生理	2	・自覚症状と他覚症状が理解できる。【知識・技術】 ・呼吸器症状の病態生理を説明できる。【知識・技術】【思考・判断・表現】
		第5章 疾患の理解 肺炎 気管支喘息 慢性閉塞性肺疾患(COPD)	12	・肺炎の検査、分類、治療について理解している。【知識・技術】 ・呼吸器症状を有する患者の看護を考察している。【思考・判断・表現】 ・気管支喘息の病型、診断、治療について理解できる。【知識・技術】 ・薬物治療を受ける患者の看護について考察している。【思考・判断・表現】 ・慢性閉塞性肺疾患の病態生理、診断、治療について理解できる。【知識・技術】 ・在宅酸素療法について理解している。【知識・技術】 ・在宅酸素療法を受ける患者への生活指導について看護計画を立案できる。【思考・判断・表現】【主体的態度】

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
3 学期	1 2	肺腫瘍	4	・肺がんの疫学、病理、症状、検査・診断について理解している。【知識・技術】 ・肺がんの治療(外科・放射線・薬物)について理解している。【知識・技術】

期	～		・肺がん(急性期)の患者の看護について考察できる。【思考・判断・表現】
---	---	--	-------------------------------------

# 令和7年度（看護）科 シラバス

教科	看護科	科目	老年看護		単位数	1単位	学年	看護科 3 年
教科書	系統看護学講座 専門Ⅰ 老年看護学（医学書院）			副教材				
評価方法	【知識・技能】【思考・判断・表現】 小テスト、定期考査、課題テスト、週課題、グループワーク、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 授業への取り組み、グループワーク、提出物、探求活動への取り組み							

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4 5 6	第1章 老いるということ	9	老年看護の特徴を理解している。【知識・技能】
		A 老年看護を学ぶ入口		老いるということを自分がどうとらえているか振り返ることができる。【主体的に学習に取り組む態度】
		B 「老いる」ということ		老年期における看護職の役割とは何かを考察している。【思考・判断・表現】
		C 老いを生きるということ		加齢に伴う身体的・心理的変化が理解している。【知識・技能】
				看護職として、老いを生きることを理解し、授業に取り組んでいる。【主体的に学習に取り組む態度】
				様々な喪失体験があることや、老年期の発達課題について理解している。【知識・技能】
	7	第2章 超高齢社会の統計的輪郭	4	
		A 超高齢社会の統計的輪郭		高齢者に関する諸統計とその推移を理解できる。【知識・技能】
				高齢者をとりまく社会の変化と現在の課題を知ることができる。【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
2 学期	9 10 11 12	第6章 健康逸脱からの回復を促す看護	14	認知機能の障害が日常生活におよぼす影響について理解している。【知識・技能】
		C 認知機能障害のある高齢者の看護		認知症の基本構造について理解している。【知識・技能】
		3 認知症		認知症の診断・治療と予防について理解している。【知識・技能】
		①認知症とは		認知症の重症度について評価方法について留意点を考えようとしている。【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】
		②認知症の症状		認知症患者の看護のコミュニケーションについて、理解している。【知識・技能】
		③認知症の病態・診断・治療		認知症患者の看護の環境づくり、日常生活のケアについて、留意点を理解している。
		④認知機能および生活機能の評価		認知症患者の看護の行動心理症状への対応について、留意点を理解している。
		⑤認知症の看護		【知識・技能】

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
3 学期	1 2	第2章 超高齢社会と社会保障	8	
		C 高齢者の権利擁護		エイジズムに基づく高齢者差別について、考えを述べることができる。【思考・判断・表現】
		①高齢者に対するスティグマと差別		高齢者の受ける虐待の実態について理解できる。【知識・技能】
		②高齢者虐待		臨床で行われることがある身体拘束について、例外3原則と関連づけ自分なりの考えを述べるができる。【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】
		③身体拘束		ノーマライゼーションと自己決定の尊重の理念を理解している。【知識・技能】
		④権利擁護のための制度		高齢者の権利擁護のための制度である成年後見制度や日常生活自立支援事業の概要を理解している。【知識・技能】

# 令和7年度（看護）科 シラバス

教科	看護科	科目	小児看護	単位数	1単位	学年	看護科 3 年
教科書	系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 （医学書院）			副教材			
評価方法	【知識・技能】【思考・判断・表現】定期考査、小テスト、週課題、グループワーク、レポート課題、振り返りシート、授業における発表、長期休業中の課題 【主体的に学習に取り組む態度】授業への取り組み、振り返りシート、レポート課題、グループワーク、課題テスト、看護科目確認テスト						

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4	第1章 小児看護の特徴と理念	4	小児看護の特徴を理解しようとしている【知識・技能】 小児看護の看護職の役割とは何かを考察しようとしている。【主体的態度】 小児に関する諸統計とその推移を理解しようとしている。【知識・技能】 小児をとりまく社会の変化と現在の課題を知ろうとしている【知識・技能】 現在の小児に関する課題に対し、看護職としてできることを考えている。【思考・判断・表現】
	5 6 7	第2章 子供の成長・発達	5	小児にとっての成長・発達の意義が理解しようとしている。【知識・技能】 成長・発達には何が影響するのか、その理由も含め把握できている。【知識・技能】 評価の方法を理解し、なぜ評価が必要なのかを考えることができる。【思考・判断・表現】 看護職として、成長・発達をなぜ学ぶのかを理解し、授業に取り組んでいる。【主体的態度】

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
2 学期	9 10 11	第3章 新生児・乳児	7	新生児から学童期までの形態的特徴を理解しようとしている。【知識・技能】 小児の呼吸・循環・体温の特徴および正常について理解しようとしている。【知識・技能】 諸器官の発達と胎児循環について理解している。【知識・技能】 新生児の特徴(原始反射、免疫グロブリン、新生児メレナ等)について理解しようとしている。【知識・技能】 新生児の特徴を踏まえ、看護師としての役割を考えようとしている。【思考・判断・表現】 新生児の生活に関心を持ち、援助方法について考えようとしている。【思考・判断・表現】【主体的態度】 新生児の排泄の特徴と世話の留意点に分かる。【知識・技能】 新生児の睡眠の意義や特徴について理解しようとしている。【知識・技能】 衣服の特徴を知り、沐浴の方法や留意点を理解しようとしている。【知識・技能】 新生児や乳幼児の事故の概要を知り対策について考えることができる。【思考・判断・表現】【主体的態度】

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
2 学期	12	第4章 幼児・学童	5	
				身体各器官における発達の特徴に関心を持ち、理解しようとしている。【知識・技能】
				乳幼児健康診査時期の成長・発達の特徴を知ることができる【知識・技能】
				新生児期や成人期と比較できている。【思考・判断・表現】

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
3 学期	1 2 3	第2章 子どもの成長・発達	8	
		第3章 新生児・乳児		五感の発達を理解しようとしている。【知識・技能】
		第4章 幼児・学童		運動機能で、児全体の90%が達成する時期が分かる。【知識・技能】
		第5章 思春期・青年期の子供		デンバー発達判定法を活用できている。【思考・判断・表現】
				ピアジェの認知発達理論の各段階が分かる。【知識・技能】
				ブリッジスの情緒の分化が理解できている。【知識・技能】
			6	日常生活の世話について、新生児期の知識と照らし合わせ援助を考えようとしている。【思考・判断・表現】【主体的態度】
		第7章 子どもと家族を取り巻く社会		
				母子保健の変遷に関心を持っている。【主体的態度】
				母子保健の基盤となっている母子保健法に定められている項目が分かる。【知識・技能】
				各感染症の出席停止期間を理解しようとしている【知識・技能】
				予防接種の対象疾患およびワクチンの種類、接種の間隔が分かる。【知識・技能】



# 令和7年度 (看護) 科 シラバス

教科	看護	科目	母性看護	単位数	1単位	学年	看護科3年
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学1 母性看護学概論(医学書院) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学2 母性看護学各論(医学書院)			副教材			
評価方法	【知識・技能】【思考・判断・表現】小テスト、定期考査、レポート課題、振り返りシート、授業における発表、週課題、グループワーク、長期休業中の課題 【主体的に学習に取り組む態度】授業への取り組み、振り返りシート、週課題、課題テスト、看護科目確認テスト						

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4	母性看護の意義	1	母性の概念について理解し、母性の健康と課題について考察しようとしている。【思考・判断・表現】
		人間の性と生殖	2	人間の性を示すセクシュアリティやリプロダクティブヘルス/ライツについて理解している。【知識・技能】
	5	女性のライフステージ各期の特徴と看護	2	女性のライフステージ各期の身体的特徴と心理・社会的特徴を理解し、看護問題について考えを深めようとしている。【思考・判断・表現】
		妊娠期における看護	4	妊娠の成立過程、胎盤形成と胎児の発育について理解している。【知識・技能】
				分娩予定日の算出、妊娠週数や区分が理解している。【知識・技能】
	6 7			妊娠に伴う母体の変化と胎児の成長の評価について理解している。【知識・技能】
				妊娠の進行に伴う生殖器の変化と生殖器以外の身体変化を理解している。【知識・技能】

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
2 学期	9 10	妊娠期における看護	8	妊娠によって生じる心理社会的変化と妊娠各期における情緒的变化について理解している。【知識・技能】
				妊婦健診の目的、内容について理解している。【知識・技能】
				妊婦の健康維持のセルフケア、育児の準備を支える健康教育について考察している。【思考・判断・表現】
	11 12	分娩期における看護	6	流産・早産・正期産・過期産の意味を理解している。【知識・技能】
				分娩の生理・分娩の生理、分娩経過を理解しようとしている【知識・技能】
				分娩第1期の経過について理解し、産婦および家族のニーズをふまえた看護を探究している。【思考・判断・表現】【主体的態度】

学期	月	学習内容(单元名)	配当時間	評価規準
3 学期	1	分娩期における看護	6	分娩第2～4期の経過について理解し、産婦および家族のニーズをふまえた看護を探究している。【思考・判断・表現】【主体的態度】
	2	産褥期の看護	4	産褥期における退行性変化・進行性変化について理解している。【知識・技能】
				褥婦の心理的適応過程について理解している。【知識・技能】
		新生児期における看護	2	褥婦および家族に対する看護について探究している。【思考・判断・表現】
				新生児の生理的特徴を理解し、新生児のアセスメント方法について考察しようとしている。【知識・技能】【思考・判断・表現】

# 令和7年度 (看護) 科 シラバス

教科	看護	科目	在宅看護		単位数	1単位	学年	看護科3年
教科書	系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤 (医学書院)		副教材					
評価方法	【知識・技能】 小テスト、定期考査、実技テスト 【思考・判断・表現】 定期考査、校内演習 【主体的に学習に取り組む態度】 課題テスト、授業・演習への取り組み、グループワーク、プレゼンテーション、探求活動への取り組み							

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
1学期	4 5 6 7	序章 地域のなかでの暮らしと健康・看護 A 働くこと・学ぶことと暮らし B 高齢者のいる暮らし C 出産・育児と暮らし	4	・自らの暮らしをイメージし、健康との関わりについて知る。【知識・技術】 ・人々の健康を支えるために暮らしを知りそのとらえ方を理解できる。 【思考・判断・表現】【主体的態度】
		1章 人々の暮らしと地域・在宅看護 A 人々の暮らしの理解 1 暮らしとは 2 暮らしと健康の関係 3 暮らしのなかで健康をとらえる	8	・療養者と家族等の年齢や疾病・障害の有無、日常生活と社会生活の現状と ・療養者と家族等の生活に長期に寄り添うとともに終末期も担うことから、多様な 価値観と文化的背景やジェンダー等の影響の理解が必要であることを考え ・グループワークに参加し、暮らしと健康についての関連について意見を述べ、 まとめることができる。【主体的態度】
		B 地域・在宅看護の役割 1 地域・在宅看護の基盤となる考え方 2 地域・在宅看護に求められる役割	3	・療養者と家族等が医療的処置等を実施できるよう支援する役割について知る。 ・生活の場であることを踏まえ、個々の状況に応じたりスクマネジメントの重要性 ・多職種との連携・協働の視点から地域の社会的資源の把握と活用について、在宅看護の役割について考察し、課題に取り組むことができる。 【思考・判断・表現】【主体的態度】

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
2学期	9 10 11 12	2章 暮らしの基盤としての地域の理解 A 暮らしと地域 C 地域包括ケアシステムと地域共生社会	6	・社会福祉協議会の活動について学び、地域の特徴を踏まえた地域の住民の ・社会福祉協議会の活動について学び、地域の住民の困りごとを解決するための活動から地域の中での看護師の役割について理解しようとしている。 【思考・判断・表現】 ・8月(夏期休業中)に、近隣の老健施設や公民館などのボランティアに参加し、地域の住人等との交流を通して、その人の健康観を知り、学びを共有できるよう発表する。【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な年代で、疾病や障害がある人々が住み慣れた地域で自分らしい生活を送るために、各自治体が地域の特性に応じた医療・介護・生活支援を一体的に提供するシステムについて理解する。 【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】
		第3章 地域・在宅看護の対象 A 地域・在宅看護の対象者 1 地域による多様性 2 ライフステージによる多様性 1) 小児期の対象者 2) 成人期の対象者 3) 老年期の対象者 3 健康レベルの多様性 1) 人々の健康状態 2) 地域に暮らす疾患・障害を持つ	8	・療養者と家族等の年齢や疾病・障害の有無、日常生活と社会生活の現状と希望などの把握と支援の必要性について理解できる。【知識・技能】 ・年齢、疾病や障害がある人々が住み慣れた地域で自分らしい生活を送るために、各自治体が地域の特性に応じた医療・介護・生活支援を一体的に提供するシステムについて理解する。【思考・判断・表現】 ・演習を振り返り、安全安楽な援助について知識や技術を深めている。 【主体的態度】

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
3学期	1 2	第6章 地域・在宅看護にかかわる制度とその活用 A 介護保険・医療保険制度 1 介護保険制度 2 医療保険制度	6	・在宅療養者の疾病や障害などにより、活用される医療保険制度は健康保険制度、高齢者医療制度、公費負担などがあることを理解しようとしている。 ・在宅療養者の要介護度などの状況により介護保険制度の活用に限度がある。 ・医療保険制度の概要(医療保険制度の基本原則と保険診療、診療報酬)について理解できる。【知識・技能】【思考・判断・表現】

期	一		<p>・在宅療養者の疾病や障害などにより、活用される医療保険制度は健康保険制度、高齢者医療制度、公費負担などがあることを理解しようとしている。</p> <p>【知識・技能】【思考・判断・表現】</p> <p>・事例を通し、活用できる制度をグループで調べ発表できる。【主体的に学習に取り組む態度】</p>
---	---	--	---

# 令和6年度（看護）科 シラバス

教科 科	看護	科 目	看護臨地実習		単 位 数	8単位	学 年	看護科3年
教科書			副 教材					
評価 方法	【知識・技能】実習記録、実習での実践、実習前確認テスト 【思考・判断・表現】実習への取り組み、グループワーク、提出物(事前学習課題、実習記録)、実習前確認テスト、探求活動 【主体的に学習に取り組む態度】実習への取り組み、事前学習課題、探求活動への取り組み							

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
1 学期	4 5	看護臨地実習オリエンテーション	105	事前学習課題を過不足なく期限内に提出し、臨地実習に必要な知識と技術を身に付けている。【知識・技能】
				事前学習課題においては教科書以外の文献も活用してまとめている。【主体的に学習に取り組む態度】
				言葉遣いや自己の健康管理など、看護を学ぶ者として責任感と規範的意識をもって看護実習の準備に臨むことができる。【思考・判断・表現】
	6	基礎看護臨地実習		看護を学ぶ者として責任感と規範的意識をもって看護実習に臨むことができる。【主体的に学習に取り組む態度】
				積極的かつ主体的に行動し、あらゆる健康状態にある対象者への看護について自ら学び、よりよい看護を考察できる。【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】
				臨床における主な疾患や治療、検査、看護について教科書や参考書を活用して学習している。【主体的に学習に取り組む態度】
				看護師が行う日常生活援助や診療補助場面に同行し、対象者に応じた看護の実践について理解している。【知識・技能】【思考・判断・表現】
				対象者について目的を持って情報収集ができる。【知識・技能】
				情報を分析、看護上の問題について考察できる。【思考・判断・表現】
				実習記録は専門用語が適切に用いられ、主観的情報と客観的情報、アセスメントの内容が分類されている。【知識・技能】【思考・判断・表現】
				適切な挨拶・言葉遣い、身だしなみ、対象者を尊重した態度で行動することができる。【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】
				時間や期限を守り、報告・連絡・相談ができる。【思考・判断・表現】
				実践した日常生活援助について振り返り、自己評価をすることができる。【思考・判断・表現】
	7	成人看護臨地実習		看護を学ぶ者として責任感と規範的意識をもって看護実習に臨むことができる。【主体的に学習に取り組む態度】
				積極的かつ主体的に行動し、看護過程の一連について自ら学び、よりよい看護を考察できる。【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】
				臨床における主な疾患や治療、検査、看護について教科書や参考書を活用して学習している。【主体的に学習に取り組む態度】
				看護師が行う日常生活援助や診療補助場面に同行し、対象者に応じた看護の実践について理解している。【知識・技能】【思考・判断・表現】
				あらゆる手段を用いて、対象者の看護過程の展開に必要な情報収集ができる。【知識・技能】
				対象者の状態に応じたコミュニケーションが実践できる。【知識・技能】【思考・判断・表現】

2 学 期	9	成人看護臨地実習	105	身体的・精神的・社会的側面から情報を分析できる。【思考・判断・表現】
				看護上の問題を抽出し、優先順位を考察できる。【思考・判断・表現】
				対象者の状態・状況に応じた看護目標を設定し、個別性のある看護計画を立案できる。【知識・技能】【思考・判断・表現】
				立案した看護計画を必要に応じて追加修正し、指導のもとで実施できる。【知識・技能】【思考・判断・表現】
				実践した援助場面が記述でき、援助の効果や影響について評価できる。【思考・判断・表現】
				実習記録は専門用語が適切に用いられ、主観的情報と客観的情報、アセスメントの内容が分類されている。【知識・技能】【思考・判断・表現】
				適切な挨拶・言葉遣い、身だしなみ、対象者を尊重した態度で行動することができる。【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】
				時間や期限を守り、報告・連絡・相談ができる。【思考・判断・表現】
				メンバーや医療スタッフとコミュニケーションをとり、チームの一員としての役割を果たそうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】
				チーム医療における看護の役割と多職種の専門性について理解している。【知識・技能】
				看護過程の展開について振り返り、自己評価をすることができる。【思考・判断・表現】
				実習内容を振り返り、対象者との関わり方や看護(援助)について考え、表現することができる。【思考・判断・表現】
				実習内容を振り返り、臨地実習における課題を発見し、よりよい看護について探求することができる。【主体的に学習に取り組む態度】

学期	月	学習内容(単元名)	配当時間	評価規準
2 学期	11	老年看護臨地実習 オリエンテーション	70	老年看護実習の概要について理解している。【主体的に学習に取り組む態度】
		看護を学ぶ者として責任感と規範的意識をもって看護実習に臨むことができる。【主体的に学習に取り組む態度】		
		積極的かつ主体的に行動し、あらゆる健康状態にある高齢者への看護について自ら学び、よりよい看護を考察できる。【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】		
		老年期にある対象者の身体的・精神的・社会的特徴と加齢変化について理解できる。【知識・技能】		
		高齢者の生活環境や高齢者施設の環境について理解できる。【知識・技能】		
		対象者の状態に応じたコミュニケーションが実践できる。【知識・技能】【思考・判断・表現】		
		対象者について情報収集を行い、健康状態に応じた日常生活援助を実践または考察できる。【知識・技能】【思考・判断・表現】		
		実践した援助場面が記述でき、援助の効果や影響について評価できる。【思考・判断・表現】		
		対象者の健康障害による日常生活上の問題や持てる力について考察できる。【知識・技能】		
		保健・医療・福祉チームにおける看護の役割と多職種の専門性、多職種連携の必要性について考察することができる。【思考・判断・表現】		
		実習記録は専門用語が適切に用いられ、援助の場面や観察したことが明確に記述できる。【知識・技能】【思考・判断・表現】		
		適切な挨拶・言葉遣い、身だしなみ、対象者を尊重した態度で行動することができる。【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】		
		時間や期限を守り、報告・連絡・相談ができる。【思考・判断・表現】		
		メンバーや施設職員とコミュニケーションをとり、自己の役割を果たそうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】		
		高齢者との関わりや施設での実習について振り返り、自己評価をすることができる。【思考・判断・表現】		
		実習内容を振り返り、高齢者との関わり方や看護(援助)について考え、表現することができる。【思考・判断・表現】		
		実習内容を振り返り、自己の課題を発見し、よりよい看護について探求することができる。【主体的に学習に取り組む態度】		